

議会だより

まんのう

2014

平成26年9月1日発行

No.12



エイー・ヤアー

～ことなみサマーフェスタ～〈地域主体の夏まつり〉

2P **PFI事件 その後**

4P **議案採決結果**

5P **6月補正予算**

6P **6月定例会議案審議**

8P **6月定例会委員会審議**

13P **12人が町の考えを問う** 一般質問

20P **議会からこんにちは** 湧き上がる歓声

正 念 場

特別委員会報告一

結果としては、多くの相違ヶ所があり、今後、その相違ヶ所がどのような経緯で生じたものなのか。さらには、現物がどのような状態になっているのかの調査が必要と云う事です。

3月には構造部分の報告があり、6月末に仕上げ部分、設備部分の報告が出てきました。

昨年4月に体育館の壁が割れたことから始まりました新築中学校・体育館・図書館等複合施設の問題ですが、昨年12月より、議会が第三者の調査機関に図面の調査を依頼していますが、その報告が6月末で終了しました。

一次調査が終了



6月29日の中田教授による住民報告会の様子

一次調査の結果

設備部分（電気・機械など）

| 調査種別 | 調査項目 | | | |
|------|------|----|----|------|
| | 電気 | 昇降 | 空調 | 給排水等 |
| イ | 16 | 1 | 13 | 17 |
| ロ | 15 | - | 5 | 2 |
| ハ | 17 | - | - | - |
| ニ | 61 | 3 | 43 | 22 |

イ：相違無し
 ロ：相違あり。しかし、問題は無いと判断。
 ハ：相違あり。軽微な問題を含むと判断。
 ニ：相違あり。重要な問題を含むと判断。

仕上げ部分（壁・床・天井など）

| 調査種別 | 調査項目 |
|------|-------|
| イ | 35 |
| ロ | 64 |
| ハ | 63 |
| ニ | 1,116 |
| ホ | 324 |

イ：相違無し
 ロ：相違あり。しかし、問題は無いと判断。
 ハ：相違あり。軽微な問題を含むと判断。
 ニ：相違あり。重要な問題を含むと判断。
 ホ：相違あり。詳細不明のため判断できない。

ここから

— PFI 事件対策

一次調査の結果を受けて委員会内で話し合いをしました。

当初は、二次調査として直ぐにでも現在の建物が竣工図の通り施工されているかどうかの確認をしようと言う事でした。

しかしながら、中田先生等、専門家の皆さんと相談した結果、二次調査に入る前に契約の相手側であるまんさんがパートナーズに対して、まずは調査、報告をさせることとなりました。

その報告結果を専門家の方と検討して今後の方向性を決めていくこととなっています。

今後はどうなる

6月29日に開催した町民報告会においても町民の皆さんからいつまでもかかるのかと言うご意見もいただきました。確かに1年半が過ぎ

て未だ解決に至りませんが、今後、例年以上後世に余分な負担をさせることなく、良かったと言われるためにも、

今が大切な時期ですのでご理解のほどをよろしくお願ひします。

大成建設（株）より議会あてに送られてきた謝罪文

平成 26 年 7 月 2 日

まんのう町議会議長 関 洋三 様

大成建設株式会社
代表取締役社長 山内 隆司

「まんのう町立満濃中学校改築・町立図書館等複合施設事業」の建設工事につきましては、町民の皆様、さらには貴町議会の皆様にも多大なるご心配とご迷惑をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

さて、平成 26 年 6 月 23 日付で貴町議会より要請がございました。PFI 事件対策特別委員会における参考人としての意見聴取の件につきまして、つぎの通りご回答申し上げますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

弊社と致しましては、本件問題が皆様のご満足のいくよう一日も早く解決されるべく全力を尽くして参る所存でございます。

そのため、この度のご要請につきましては、不具合発生の経緯や内容に精通した弊社現四国支店長 武田信一及び前支店長 金井隆夫（弊社執行役員西日本営業本部副本部長）が貴町議会に出席し、直接ご質問にお答え申し上げますことが、「PFI 事業により建設された施設の不具合について」との意見聴取の目的に適い、ひいては、貴町議会議員および町民の皆様のご理解につながるものと考えております。

また、本件問題に関し、武田信一に対してすべての権限を与え、金井隆夫にも引き続き誠心誠意対応するよう、既に厳命したところでございます。

つきましては、これらの趣旨を踏まえて、ご要請の参考人招致には、上記の武田信一および金井隆夫の両名を出席させて頂きたくお願ひ申し上げます。

弊社と致しましては、これまで貴町に対してご誓約させて頂きました通り、本件建物の調査や問題解決に向けたご対応に全面的にご協力し、そのための調査や改修の費用につきましても全額負担させて頂く所存でありますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

議案採決結果

| 議案名等 | 議員名 | | | 議席番号 | | | | | | | | | | | | | | | 関連ページ | |
|------------------------------|-----|----|------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|-------|---------|
| | 賛成 | 反対 | 議決結果 | 16 関洋三 | 1 竹林昌秀 | 2 川西米希子 | 3 田岡秀俊 | 4 合田正夫 | 5 三好郁雄 | 6 白川正樹 | 7 本屋敷崇 | 8 白川年男 | 9 白川皆男 | 10 大西樹 | 11 藤田昌大 | 12 松下一美 | 13 三好勝利 | 14 大西豊 | | 15 川原茂行 |
| 平成27年(第2回)6月定例会 (6月20日～7月4日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議案第1号 | 15 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | P6 |
| 議案第2号 | 15 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | P6 |
| 委員会修正議案第3号 | 15 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | P6 |
| 議案第4号 | 15 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | P6 |
| 発議議案第5号 | 5 | 10 | 否 | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | ○ | ○ | P6 | |
| 議案第6号 | 10 | 5 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | P7 | |
| 議案第7号 | 12 | 3 | 同 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | P7 |
| 議案第8号 | 11 | 3 | 同 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 除 | ○ | × | P7 | |
| 選挙第1号 | 15 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | P7 |
| 発委第1号 | 15 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | P8 |
| 諮問第1号 | 15 | 0 | 推 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | P8 |
| 動議第1号 | 4 | 12 | 否 | 無記名投票 | | | | | | | | | | | | | | | P8 | |
| 閉会中の継続審査について | 15 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | | | | 議席番号 | 16 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |

※可/可決 否/否決 認/認定 不/不認定 推/推薦 同/同意 ○/賛成 ×/反対 除/除斥
 ※議長は可否同数の場合のみ表決権を有します。(議長 議席番号16番)

議会に来てください

本町議会は、どなたでも傍聴できます。
 会議日程は、ホームページ、告知放送でお知らせしています。
 →詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109

ご案内 次回の定例会は9月に開会予定です。



本会議の傍聴席(後方)

平成26年度6月定例会

開催期間 6月20日～7月4日（15日間）

1億8700万円を
増額補正

仲南地区の幼稚園・保育所一体化施設整備費
高篠小学校施設整備費
満濃中学校PFI事業調査委託料など

6月定例会は、6月20日から7月4日までの会期で開き、平成26年度まんのう町一般会計6月補正予算や税条例の一部改正、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正、職員の給与、特殊勤務手当に関する条例の一部改正などの5議案を可決承認しました。

あと、副町長選任同意等の3議案については、賛成多数で原案同意しました。

26年度6月補正予算

| 会計名 | 補正額 | 総額 |
|------|-----------|------------|
| 一般会計 | 1億8,771万円 | 94億3,171万円 |

26年度6月補正の主な内容

| 事業名 | 目的別名 | 予算額(概算金額) |
|-----------------------|------|-----------|
| 特定作物振興事業（ひまわり関連） | 農業費 | 390万円 |
| 教育研究所及び発達障害理解推進事業 | 教育費 | 150万円 |
| 高篠小学校施設整備 | 教育費 | 2,200万円 |
| 満濃中学校等整備・運営事業（PFI 関連） | 教育費 | 1,000万円 |
| 幼稚園・保育所一体化施設整備（仲南地区） | 教育費 | 1億5,000万円 |
| 公園施設管理（大川キャンプ場関連） | 商工費 | 25万円 |

6月定例会

議案第1号

公民館の職員の代休取得の改正条例（平成26年8月1日から非常勤の職員に代休を与える）

【採決結果】

全会一致原案可決

議案第2号

町職員の通勤手当の額を距離に応じて改正する条例（平成26年8月1日から支給する）

【採決結果】

全会一致原案可決

委員会修正

議案第3号

①人や家畜の感染症・

伝染病防疫作業の従事職員の特殊勤務手当に関する条例

②町立学校に勤務する

職員の対外運動競技等の休日手当に関する条例

る条例

（②に関しては8月1日を7月4日からに修正）

【採決結果】

全会一致原案可決

議案第4号

原付・二輪・軽自・小型特殊の税額改正（平成27年度より増額する。）

【採決結果】

全会一致原案可決

発議

※会議中に討議したい議題を出すこと

議案第5号

平成26年度まんのう町一般会計補正予算（案）第1号に対する修正案

提案者（本屋敷 崇 同（藤田 昌大）

（提案理由）

修正は今年整備する予定の仲南地区の幼保一体化施設の建設予算についてである。施設を整備することが目的と

討論

【反対】三好 勝利

なっており、幼保一体化施設の意義を考えていない。設計事務所に丸投げである。行政ルールを無視している。



幼保一体化施設は地域の方が大きな期待を持って待っている。審議は十分された。これよりは一日も早いすみやかな建設が必要。

【賛成】藤田 昌大



ひまわり商品関連事業・高篠小学校増築については賛成である。しかし、仲南幼保一体化予算

については1億5千万という多額の増額であり審議不十分である。

【反対】竹林 昌秀



3月の補正予算で建設費は審議済みであり、今の事情を鑑みると増額も必要な費用と考える。

【賛成】川原 茂行



議会は全員で建設に努力している。執行部の対応は民主主義のルールに反している。中学校の複合施設の反省に立つ過去の失敗例を教訓として生かせなかつたか。住民の血税を使うのに十分な審議なくしてこれで進めようとする町執行部体



幼保一体化施設の完成予想図

制の姿勢に対し反対する。よって、修正案に賛成する。

【採決結果】

反対多数 否決

平成26年度まんのう町一般会計補正予算(案) 第1号

【討論】

【反対】本屋敷 崇



補正予算については、南幼保一体化施設部分1億5千万円について賛成できず、他の予算についておいては可決することが望ましいが、修正案を否決された事により、補正予算全額において反対せざるを得ない。

【賛成】三好 勝利



全てが必要な予算である。審議も尽くされている。

【反対】藤田 昌大



幼保一体化施設については、教育方針等、重要な部分が示されておらず、審議不十分。時期尚早である。

【賛成】合田 正夫



執行部が説明不足等手落ちのあったことは認め反省もしている。建設は必要。さらなる資材等の値上がりもあると思

われる為、苦渋の選択ではあるが賛成する。

【反対】川原 茂行



幼保一体化施設の建設について審議が十分なされたとはいえない。

【賛成】田岡 秀俊



今年の3月補正予算審議で全会一致で可決している。増額は昨今の資材費、人件費等の高騰による全国的な入札不調に鑑み行うものであり、必要な施設であり、賛成する。

【採決結果】

賛成多数 原案可決

議案第6号

副町長選任の同意について

【討論】

【反対】本屋敷 崇



前任期中、副町長としての手腕が充分に発揮されていたとはいえない。今後どのように副町長として町政に取り組んでいくのか今もって不明である為、賛成できない。

【賛成】三好 勝利



これまでの4年間の仕事ぶりも人柄も問題ない。これまでの経験を活かし、さらに町行政に尽力いただけるものと確信

している。

【採決結果】

賛成多数 原案同意

議案第7号

監査委員(識見を有する委員)選任の同意について

まんのう町中通 増田 忠次 氏

【採決結果】

全会一致 原案同意

議案第8号

監査委員(議会選出監査委員)選任の同意について

まんのう町七箇 三好 勝利 氏

【採決結果】

賛成多数 原案同意

選挙第1号

まんのう町選挙管理委員及び同補充員の選挙について

指名推薦

選挙管理委員

○まんのう町中通 宮地 正 氏

○まんのう町七箇 森藤 勉 氏

○まんのう町炭所西 千葉 明子 氏

○まんのう町吉野下 秀石 修二 氏

同補充員

○まんのう町岸上 横関 保 氏

○まんのう町吉野 森本 房男 氏

○まんのう町大口 中矢 実 氏

○まんのう町造田

田中 淳 氏

【採決結果】

全会一致当選

諮問第1号

人権擁護委員候補者の

推薦について

○まんのう町七箇

林 綾子 氏

○まんのう町吉野下

秀石 通子 氏

○まんのう町炭所西

曾我部 照代 氏

【採決結果】

全会一致原案同意

弁委第1号

本会議における議員の
質問回数3回の制限を
撤廃する

【採決結果】

全会一致原案可決

動議

※会議中に予定していた
議案以外に討議したい
議題を出すこと

動議第1号

まんのう町長の不信任
決議案

提案者 (本屋敷 崇)

賛成者 (川原 茂行)

(提案理由)

◎仲南地区幼児教育施設
建設費において分か
るように、納得のい
かない入札や公文書の改
ざん、行政ルールを
逸脱した行政手法。
◎そのことを議会に審
議させない、一度低い
金額で議会を通し、
その後増額をするよ
うな議案提出など議
会制民主主義を阻害
する議会軽視の行政
手法。

◎更には、PFI事業に
おける反省をせず同じ

ことを繰り返す姿勢。
この様な理由から不
信任に値すると考える。

(賛成理由)

町長は3期目の当選
を無投票で果たした。P
FI問題等の反省を踏
まえ、栗田カラーを全
面に出し、強い決意で
臨むとの表明があり、
町民に支持された。し
かし、今回の補正予算
の対応については反省が
見られず、従来の方針
を踏襲し、変化が見ら
れない。従って民主主
義の原則に基づき不信
任案に賛成する。

【採決結果】

反対多数否決

賛成 4名
反対 12名

教育民生常任
委員会報告

衛生費

衛生環境を守れ

ゴミ収集

(三好勝利委員)

子育て世帯を中心に
週2回のゴミの収集要望
があるのでないか。実施
する場合の必要経費は。

(住民生活課長)

週2回収集の必要性
は認識している。
必要経費は機材・人
件費で1千万円程度であ
る。他自治体の状況を
参考に検討したい。

子育て支援

病後児保育

(川西米希子委員)

子育て支援事業の中で
病後児保育も必要では

ないか。

(学校教育課長)

看護師や病院的な体
制づくりの検討もいる。
費用のことも考えな
がら今後十分検討して
いく。

命を守る

災害時の協定

(白川正樹委員)

災害時の医療救護活
動に関する協定とは。



琴平町と合同で調印

(健康増進課長)

大規模災害時の医療活動を円滑に行うため仲多度南部医師会琴平支部・まんのう支部など6機関と本年4月災害時の医療救護活動に関する協定を結んだ。

元気で長生き

高齢者の認知症予防

(川西米希子委員)

高齢者の認知症予防が自治体の課題となっている。まんのう町の取り組みは。

(福祉保険課長)

うきうき教室・オレングリミング活動の推進などで予防対策を行っていく。

地域で子育て

つどいの広場

(白川年男委員)

つどいの広場とは何なのか。

(健康増進課長)

子育て支援事業として親子で過ごせる「つどいのひろば・ひまわり」を4月より開始。子どものみの「時預かり」は、時間700円で6月より開始。出産前後4ヶ月程度「子育てホームヘルパー派遣」は秋頃開始予定である。

教育費

生活の中に英会話を

早期英語教育

(三好勝利委員)

英語教育は話すのが基本、幼稚園・小学校の生活の中に英会話を取り入れられないか。

(教育長)

英語を話し、慣れ親しむことが大事である。そういった雰囲気づくりの方向性で行きたい。

すこやかな成長を支える

早期支援教育

(川西米希子委員)

早期支援コーディネーターの役割はなにか。

(学校教育課長)

支援員、保育士に対し指導する役目であり、支援を必要とする子供たちへの指導方法をアドバイスしている。常勤ではなく、週3回程度の勤務。

どごする土曜日の授業

学校教育

(田岡秀俊委員)

今年から学校5日制の

枠が外れて、土曜日にも正規の授業が行えるようになったが、まんのう町は。

(教育長)

今は土曜日の正規の授業は考えていない。土曜日は外部から講師を招くなどの有効活用を考えている。

癒しの時間を

森のコンサート

(白川正樹委員)

昨年度はPFIの提案事業で行ったが今年度はどうするのか。

使いやすい文化拠点に

周辺整備

(三好勝利委員)

仲南支所駐車場は現在整備中だが、ホール北側の通路計画はどのようなになっているのか。利用者の立場に立った文化発信の拠点施設となるよう計画すべき。

(仲南支所長)

勾配等の関係から民有地を収用することも含め検討中である。事業費の関係から整備は次年度以降になる予定である。



お話と音楽で綴る「オーケストラの演奏会」

総務常任
委員会報告

総務費

まんのう町に住もう

定住促進



区画される琴南授産所跡地

(大西豊委員)

琴南地区授産所跡地の土地造成費と分譲売上額の収支はどのようになっているか。

(総務課長)

建物の解体撤去費用を別にすれば造成費は分譲売却費とおおむね

見合ったものになっている。地域活性化につながる。地域活性化につながる。地域活性化につながる。

町民を守る

災害対策

(藤田昌大委員)

災害時の避難マニュアルの作成や避難勧告の周知の仕方はどうなっているのか。

(総務課長)

避難マニュアルは現在作成に向けて準備中である。避難勧告は音声告知放送により伝える。確実に伝わるよう取り組む。

情報量が少ない

行政情報

(藤田昌大委員)

中讃テレビで表示される行政情報量が大変

に少ない。

必要な情報をきちんと町民に知らせるべきではないのか。

(企画政策課長)

情報発信量が少ないことは認識している。今後充分情報提供できるように対応していきたい。

建設経済常任
委員会報告

農林水産業費

農業を守れ

農用地利用

(竹林昌秀委員)

農地中間管理機構は利用集積を担うのか。

(産業経済課長)

同機構は、貸し手と借り手の仲人役である。



今後検討されるサービスエリア拡大

従来の当事者間の合意を農業委員会が許可する方法との併行運用となる。

(本屋敷崇委員)

琴南地区で実施しているが、琴南地区においても実施できないのか。

商工費

食と生活を支える

買い物支援

(産業経済課長)

琴南地区でも買い物支援が必要であるとの認識はしている。方法の一つとしてふれあいサロン

等で実施できないか検討している。

土木費

安全・長寿命化を

町道橋梁調査

(本屋敷宗委員)

調査の結果緊急を要する箇所があるのか。修繕は、多額の費用を要することなので全体計画を立てて実施すべき。

(建設土地改良課長)

現在、直ちに架け替えを要する橋梁はない。しかし、部分的な改修を含め修繕をしなければならぬ橋梁はたくさんある。計画的に改修を行い長寿命化を図っていく。

予算決算特別委員会報告

●農林水産業費

○ひまわり栽培の関連事業ビジネスプランについて審議をおこなった。

議員より集客や収支管理には、戦略性があるのか、また、

●教育費

公益性はあるのか等の説明を執行部に求めた。

○教育の質の向上の為、教師が先進地へ研修に行くことについて、研修先の選定理由や旅費等について審議した。○高篠小学校と仲南幼



ひまわりまつりフォトコンテスト準大賞
「みんなで星空観賞」

保一体化と施設整備について最終図面に至るまでの経過や、補正予算を組まなければならなくなった説明を、根拠となる資料の提出とともに求め審議した。

また、今後の施設管理の的確さを議会として求めた。

○PFI事件対策における第三者委員会の調査費について審議をおこなった。

調査内容の説明を受け財源を問い採択の同意をした。

●商工費

○大川キヤンプ場

管理棟にあるトイレ施設の劣化状態と改修の必要性について説明を受け審議した。

政策充実特別委員会報告

●まんのう町政治倫理条例について賛否両論の意見があり、最高裁の判例で「政治倫理条例は正当な目的達成の手段として必要で合理的だ」とあり、当然の事が守られていないので条例化する必要がある。

●まんのう町総合計画後期についても議会として見直し、政策提言をしていき、年次報告できる方向で毎月1回程度の特別委員会を開催する。



委員会の現地視察

議会広報特別委員会報告



研修中の広報委員 (6名)

広報委員研修

伝えることの大切さを学ぶ

【日時】

7月10日・11日

【場所】

砂防会館(東京)

【目的】

読みやすい議会広報をめざして

全国町村議長会主催の広報研修会が開催され、全国から約600

人の広報委員が参加しました。

本町からは去年に引き続き委員6名が参加しました。

一日目は、3人の講師による全体研修があり、わかりやすい表現の仕方、広報誌の編集、写真の見方、考え方等の研修がありました。

二日目は4つの分科会に分かれました。本町委員は第二分科会で初日より詳しい広報誌の編集の方法を教わりました。また全国の広報誌の中で具体例を示し、良い点、改善の余地がある点を教わりました。

研修を終えて

「議会だより」は住民と議会を結ぶ最も重要な手段のひとつです。今回の研修で勉強したことを今後の広報紙に活かしたいと思います。



委員会の様子

議会報告会の開催

もっと身近な議会に 開催場所6会場

町内6会場に議員が別れて参ります。少しでも多くの町民の皆さんと議会に対するご意見や町政のことをお話する機会と思います。ぜひ、ご都合に合わせておいでください。

| 議員名 | 11月 20日(木) | 11月 21日(金) |
|-------|------------|--------------|
| | 19時～21時 | 19時～21時 |
| 松下 一美 | 仲南公民館 | 長炭公民館 |
| 大西 豊 | | |
| 白川 皆男 | | |
| 本屋敷 崇 | | |
| 白川 正樹 | | |
| 田岡 秀俊 | 琴南総合センター | 吉野公民館 |
| 三好 勝利 | | |
| 大西 樹 | | |
| 合田 正夫 | | |
| 竹林 昌秀 | 高篠ふれあいセンター | 琴南農村環境改善センター |
| 川原 茂行 | | |
| 藤田 昌大 | | |
| 白川 年男 | | |
| 川西米希子 | | |
| 三好 郁雄 | | |

いっぺん来てつか

一般質問とは？

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

一般質問は、定例会にのみ許されます。

一般質問は、議会にあげられた議題とは関係なく行政全般にわたる議員主導による質問のため議会、執行部とも時間をかける必要があるため事前に質問を通告します。

質問事項は、明瞭簡潔で行政の政治姿勢を正すものである事が望ましいとされています。

まんのう町議会の一般質問

一般質問は、各議会で形式が変わります。まんのう町も、傍聴に来ていただいた方にわかりやすい形式を定めています。

- 年4回の定例会で質問可能。
- 質問できる議題は、3問まで。
- 質問方法は、一問一答。
- 30分を超えての質問は不可。(執行部答弁は含まない)
- 執行部に反問権を与えている。

議員が町の考えを問う

白川 正樹 議員

「ひまわり牛」次の一手は

本屋敷 崇 議員

町内の組織体制について

白川 年男 議員

山林と漢方薬木・薬草について

松下 一美 議員

最近激減しているホタルの保護について他

三好 勝利 議員

高齢者の日常生活で安否確認について他

三好 郁雄 議員

デマンドタクシー運行の見直しについて他

川原 茂行 議員

近代農業の実現に向け新しい水源地の確保と全農地パイプライン化による親池の確保について (特に満濃地区)

藤田 昌大 議員

今後の町の発展と地域防災確立の為、自治会を中心とする「コミュニティ」が大切であるが方針を示すことについて他

竹林 昌秀 議員

百の指標からみたまんのう町について他

田岡 秀俊 議員

協働のまちづくり推進のため「住民組織」の結成を

川西米希子 議員

防災対策(路面下空洞調査等)について

大西 豊 議員

行財政改革について他

大西 豊 議員



・行財政改革

問 財政力指数は

まんのう町の財政力指数は、平成20年度が0.42、平成25年度が0.38と悪化しており、地方債残高の推移をみると平成25年度151億9千万円、平成27年度予想が153億9千万円と増加している。ま

平成24年度財政力指数算定表
(22.23.24年平均 26年3月最新)

| | | |
|----|-------|------|
| 1 | 宇多津町 | 0.85 |
| 2 | 坂出市 | 0.83 |
| 3 | 高松市 | 0.80 |
| 4 | 丸亀市 | 0.70 |
| 5 | 多度津町 | 0.65 |
| 6 | 観音寺市 | 0.61 |
| 7 | 綾川町 | 0.56 |
| 8 | 三木町 | 0.54 |
| 9 | 三豊市 | 0.49 |
| 10 | 香通寺市 | 0.48 |
| 11 | 東かがわ市 | 0.46 |
| 12 | 西島町 | 0.45 |
| 13 | 琴平町 | 0.40 |
| 14 | さぬき市 | 0.40 |
| 15 | まんのう町 | 0.38 |
| 16 | 土庄町 | 0.36 |
| 17 | 小豆島町 | 0.33 |

財政力指数

・大成建設(東京)指名停止について

問 どのような処分を

施工管理会社及び参加企業等に対してどのような処分をするのか。

た、元利償還金も平成25年度が11億1千万円、平成27年度予想が11億9千万円と増加するという将来の財政運営に問題はないのか。

答 自主財源確保・事務事業見直し

今後町税の徴収強化等の取り組みや自主財源の確保に努め、徹底した事務事業の見直しを行い行財政改革を行う。

答 調査・報告

秋口までに調査結果を報告できるように進める。

・資源ごみの黒字化

問 分別収集量が減少しているが

平成20年度分別収集実績857トン 収益794万円 全費用1,416万円 マイナス622万円 平成25年度分別収集実績704トン 収益612万円 全費用1,606万円 マイナス994万円以上の実績からみると分別収集量が減少しているが、ゴミの収集量はどのような推移か。

答 適正な分別・ゴミの資源化

資源ゴミが減少し、燃やせるゴミが増加している現状であり、適正な分別収集とゴミ資源化に全力で取り組む。

川西米希子 議員



・防 災

問 道路・橋の安全対策を

答 事業展開の時期を検討



陥没箇所所の応急処置のようす

道路や橋は、私たちの生活を支える重要な役割を担っている。災害時には、避難経路や、緊急物資等の輸送経路ともなる。路面下を含む道路等の安全点検にはどのような取り組みをしているのか。さらに、今後どのような取り組みでいくのか。これら事業展開の時期を検討していく。

(町長)

災害時に大きな支障をきたすことがないよう日頃より道路パトロール等に注意を払っていく。

下水道施設(ポンプ場・管きょう等)の腐食状況老朽度診断等、



田岡 秀俊 議員

・協働

問 協働のまちづくり推進のため「住民組織」の結成を

答 先進事例を調査研究し、まんのう町独自の取り組みを検討

住民ニーズの多様化・高度化、厳しい財政状況などにより、これまでのような行政主導型のまちづくりは限界に来ているのではないかと官(行政)が担ってきた公共サービスの一部を



地域ぐるみの清掃活動のようす

民の力を借りてやってくる仕組みづくりが必要である。三豊市では「町づくり推進隊」という住民組織が結成され活動している。わが町でもそのような組織づくりが出来ないか。



子どもたちによる「協働」の取組み

(町長)

協働のまちづくりについては、町総合計画のサブタイトル「改革と協働、輝きのまち」にもなっており、非常に重要なことである。そのためには、住民組織は必要不可欠であり、自治会や各種団体等の既存の団体を含む「まちづくりワークショップ」的な組織を立ち上げることで、新たなまちづくり、地域づくりを推進する団体の活動を支援する体制を整えたい。

・諸統計の活用

問 100の指標 ランキングを求める

「100の指標からみた香川」が香川県統計協会から出た。このまんのう町版を出せないか。本町の数値を分子にして、県の数値を分母にしたものを指標にすれば、本町の特性や長短が分かる。また、この住民の生活指標の市町ごとのランキングの作成版を求める。

答 ネット上にあるのでこれらを活用する

竹林 昌秀 議員



(町長)

まちづくりの上で大いに活用していきたい。県と協議し、可能であれば町ホームページにも公開していきたい。

・経済指標の報告と活用

問 工業誘致の経済効果を問う

町長が本町の経済をどのように見ているか、お尋ねする。町の経済を観測しながら、その循環が進展する手法を講じるべきである。



自然エネルギーの設備投資(新目)

答 積極的に取り組む

(町長) 地域経済に活力を与えたい。

・第六期介護保険計画の策定

問 現行の評価から着手を望む

次の介護保険計画をどのような方針で、どのような手順と方法で策定しようとしているのか。

また、政府改革では、市町村の独立運用が拡がることから、地域包括支援センターの運営をどのようにするのか。

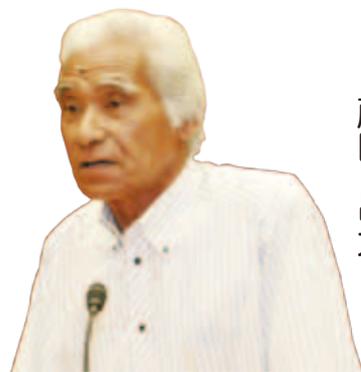
答 点検・評価する

(町長) 地域包括ケアのために、7月より委員会を開催して、12月に議会に示したい。



農村工業導入の製品出荷(生間)

藤田 昌大 議員



・自治会組織の強化

問 自治会組織率の現状と加入率の向上

自治会の組織は今後予想される東南海地震、自然災害における被害を最小限にするために強化する必要がある。そこで現状の地区別組織率と未加入世帯数を示すこと。

答 相互扶助の図れる自治体づくりに努力

(町長) 未加入世帯は2316世帯である。加入率の低

下の要因は転入世帯や集合住宅居住者の増加とおもわれる。地域防災やごみ収集など協働体制の町づくりを検討したいと考えている。

育はどうあるべきか。

・学校教育における共助共援の教育

問 学校教育において社会性を養うための教育の指導状況

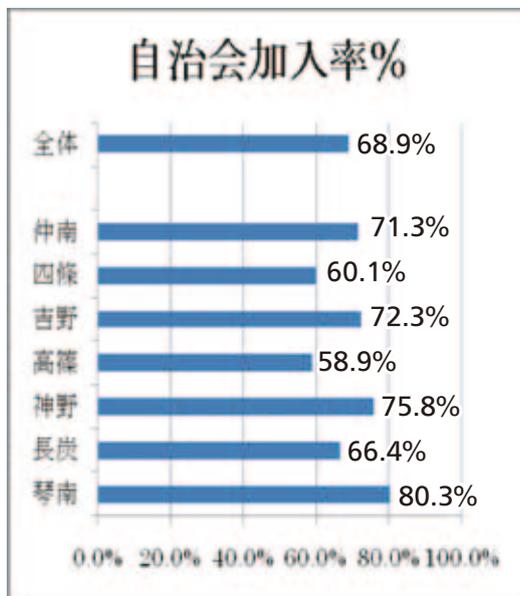
小学校での社会性やお互いを思いやる気持ちを身につける道徳教

答 地域防災・地域の安全、ごみ問題を中心に教育

(教育長)

住民が共に協力しながら地域社会が形成されていることを教えている。縦割り活動、異年齢交流等多面的に取り組んでいる。

挨拶運動や共同募金への協力、ボランティア活動など自主的な参加により共助を学んでいる。



町内の自治体加入率 H26.6.1現在

川原 茂行 議員



・農業が魅力あるものに

問 水源地とパイプライン化による親池の確保は

答 現時点での満濃地区に特化した整備は非常に困難

これからの農業経営に考えているのか。

に必要な諸条件を満たすために、次のことが重要である。

- ① 保水力のある森林育成
- ② 降雨時に水を溜めるダムの建設
- ③ ほ場整備に伴うパイプライン化(用排分離)
- ④ 農業だけでなく、ゲリラ豪雨等の洪水対策

魅力ある農業がものにならば、農業後継者が育ち、住、引いては人口増につながる。これらについて、農業が現時点での満濃地区に特化した整備は非常に困難と考える。将来的には、考えていきたい。

(町長)

魅力ある農業を育てることは重要な問題であり、森林保護も自己水源地であるダムの建設についても重要と考える。



パイプライン化したもっこく池

農業が魅力あるものにならば、農業後継者が育ち、住、引いては人口増につながる。これらについて、



パイプライン給水栓



三好 郁雄 議員

・交通弱者対策

問 運行エリアの拡大を
答 計画の変更を検討したい



あいあいタクシー乗り降りの様子

デマンドタクシーは、毎年1万人を超える方々に利用され愛されている。地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき設置された。まんのう町地域公共交通総合連携計画により運行されているが、利用者の利便性を考えて町境で隣接する医院への乗り入れなどではできないのか。

(町長) タクシー業者との協議・調整を図ると共に、調整が整えば、まんのう町地域公共交通協議会を開き、国、県、バス会社、タクシー会社、町連合自治会、町商工会の委員と協議を行い、計画の変更を検討したい。

・高齢者の安否確認

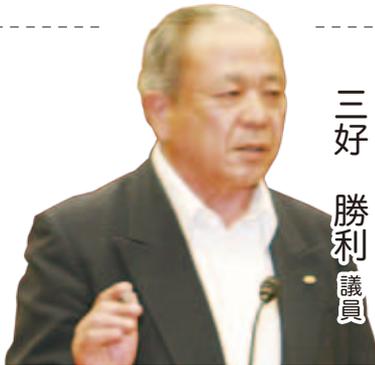
問 日常生活における安否確認は

高齢者の日常生活で安否確認についてどのような方法で行っているか。また、今後どのように進めていくことを考えているのか。

答 関係機関との情報共有を図り、自助・共助を支援、公助を進める

(町長)

高齢者の安否は、日常の生活実態を把握しておくとともに、不測の事態が生じたときに誰がどのように対応する



三好 勝利 議員

のかを明確にし、関係者が情報を共有することが必要である。生活実態の把握については、民生委員児童委員が毎年7月に在宅福祉実態調査を、災害時要支援者登録と合わせ、一人暮らし高齢者と高齢者のみの世帯を訪問し、直接、本人から聞

また、町として見守り事業、地域ネットワーク、警察・関係機関との連携を検討していく。

・徳育・体育・食育

問 学校教育における食育(給食)は

学校教育における徳育・体育・食育のうち食育(給食)について、子供の糖尿病予備軍が増えている報道があり、食育の基本は学校給食にあると言われるが今後どのように考えているのか。

答 学校・家庭・地域が連携し、支援する

(教育長)

き取り調査を行っている。この情報は本人の承諾を得て、町社会福祉協議会の関係機関で情報共有を図っている。

今後、高齢者の安否確認においては、自助・共助・公助の考え方を基本に置き、自助と共助を支援し、効果的な公助を進める。

学校栄養職員が配置されており、献立を教材化する様々な指導を行っている。また、小児生活病予防への取り組みがなされ、保護者には予防についての啓発、学校では、対象児童生徒への個別指導を行っている。



緊急通報装置

松下 一美 議員



・減少傾向の ホタルの保護

問 環境に配慮した
工法を

炭所西大向地区のホタルの乱舞の様子が新聞紙面に紹介され、多くの家族連れが幻想的な光景を楽しんでいる。捕獲して帰る人もおり、地元としてはホタルの保護を図りたい。町として保護区の指定をすべきでないのか。

また、今後の農道、水路改修等も環境に配慮した工法で行っていくべきでないか。

答 自然環境に配慮した
工法について
地元関係者と協議

(町長)

自治体によるホタルの保護の事例を今後調査研究しながら、本町に適した条例制定を検討していく。今後、農業水路改修等において、自然環境に配慮し、地元関係者と十分な協議を行っていく。



ホタルの乱舞 (長炭)

・自衛消防の 見直し

問 消防団の公設を
視野に見直しを

現在、まんのう町に

は、公設と自衛の消防がある。しかし自衛消防には、災害出動時の負傷等に対して補償が無く、民間協力者としての扱いである。今後団員の負傷時の補償、装備の充実等、公設も視野に見直しが望まれる。

答 活動時の保険適用・
助成は今後も継続

(町長)

今後、災害出動時に、公設消防への協力者として、活動時には同等の保険が適用される。

今後とも活動助成、資材購入費の50パーセント助成も継続される。
(平成25年度実績)
活動助成 330万円
資材助成 138万円



機動力アップ軽消防車

白川 年男 議員



・漢方薬木、薬草で森林の再生

問 山林や耕作放棄地の対応が遅れている

答 「まんのう町地域振興研究会」等で協議

農地等は中山間直接払い制度等でかなり整備されている。しかし山林や耕作放棄地の対応が遅れている。今回はこの様な林野に薬草、薬木を成功している市、町の事例を以下に紹介する。

(町長)

①(高知)越智町にては町、県、(地元)農業法人とツムラ漢方と契約して薬草等約20品目を栽培している。

②(徳島)美馬市にては葉タバコの代替品目として約30品目の薬木等を栽培している。この様な事例を踏まえて本町も米、野菜、の

森林整備や耕作放棄地解消を図る点では良い方法だと思う。ただこの事例においては生産者が組織を作り供給体制を確立し、生薬会社との契約により栽培されており栽培に適した品種選定、販売先があるか、需要に見合った生産量が確保できるかなど調査する必要がある。本町にもこの事案に取り組んでいる方々もいるので今後「まんのう町地域振興研究会」等で協議されるようだ。ほか県、農協、森林組合等関係団体と検討の上、町としても支援してゆく所存である。



薬木 カラガシ



本屋敷 崇 議員

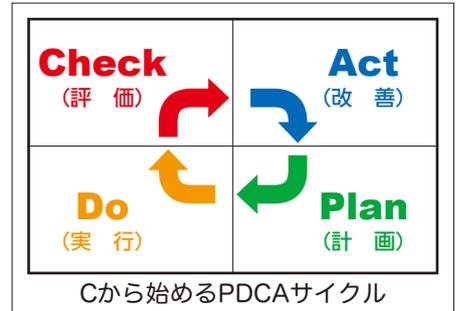
・行政組織

問 組織体制の見直しを
答 見直しを行う

庁舎内においていちばん重要である会であるべき課長会が、月に1度集まるだけの会になってはいるのではないか。

また、議会上がってくる資料等を見ても、説明資料としての形態をとれていない事を考えれば、効率的な仕事が行われているのかに疑問を抱かすにはられない。

それを是正するには、町長がリーダーシップを発揮する以外に無いと考える。庁舎内のこの状態を作り出したのも、8年間の町長の姿勢において目標を持った指導性が足らなかったからであり、4年間の任期に就くにあたり、強いリーダーシップにおいて機能する組織体制への改革が必要だと考える。



(町長)

確かに課長会は指摘の様に形骸化している様にも思える、また、庁舎内の資料においてもまだまだ至らないのかもしれない。しかしながら、行政改革等において指摘されるような部分を少しずつではあるが改正をしてきた。改革のペースが遅いと言われればそうかもしれないが、この4年間に於いて、町長として強いリーダーシップで改革を押し進めていくつもりである。



白川 正樹 議員

・ひまわり牛

問 「ひまわり牛」取り組みと関連商品の開発を
答 「ひまわり牛推進協議会」で検討し、実施する

「ひまわり牛」の飼育、販売での今後の取り組み計画と香川県の「うどんネクター」「うどんバツジ」のような「ひまわりネクター」「ひまわりバツジ」等の関連商品を考えてはどうか。

(町長)

現在商品化している「ひまわり油」「ひまわりドレッシング」など、ひまわり商品の販売拡大を図り、ひまわり生産農家の所得向上に結びつけたい。「ひまわり牛」はひまわり生産者の熱意と畜産事業者の理解、香川県畜産課など関係機関の指導、協力で4月に誕生した。地域特産として確実なものにするために、「ひまわり」の安定生



売れゆき好調な「ひまわり牛」

体育とスポーツ
湧き上がる歓声

町民体育館の利用

利用者に向けてみました。

中学バレーボール部の声。3面バレーコートが確保でき、サービスゾーンや周囲が広く、天井も高く競技会場とほぼ同じなので、本番と同様な練習ができる。壁打ちや、ランニングコースがあり、練習やウォーミングアップに適している。明るく、きれいで、練



男女いっしょに

習に集中できる。なりよりもクーラーがあり、夏はありがたい。便利で快適な部室がいい。ただ、大会時の応援する場所が狭いのと、トイレの数が少ないのではないかと意見がある。

円滑な交流大会

体協バドミントン部の声。照明が明るく、天井が高いので、質の高いラリーができる。身体能力を高めるプログラムを、トレーニングルームで、丁寧に指導してくれる。同一会場で大会が開催できるようになり、運営が楽なだけでなく盛り上がり、親睦の輪が、広がる。自信をもって練習環境の良さを自慢できるので、会員の増強を目指したいと思う。



年の差越えて バドミントン

利用者数1万8千人

徐々に施設の魅力が伝わって、利用者が次第に増えているので、より一層の町民体育館の利用が活発になることを願っている。町民の健康度合いは、医療費の増減を左右し、要介護者の伸縮に大きな影響がある。生徒の授業や校内行事に加えて、町民の健康のために、体育館の役割は大きなものがある。

年間利用者数 (人)

| | |
|-----------|--------|
| アリーナ | 5,931 |
| 武道館 | 2,761 |
| スタジオ | 1,631 |
| 会議室 | 235 |
| 研修室 | 86 |
| トレーニング室 | 5,311 |
| 地域開放プログラム | 1,506 |
| 任意提案プログラム | 455 |
| 年間利用者総数 | 17,916 |

多彩な活用の開拓を

当初想定していなかったようなイベントや体育やスポーツ以外の町民の利用開拓を、どこまで幅広く、多彩に町民が体育館を使いこなせるのか。住民の創造力を期待する。



熱戦 PTAバレーボール大会

今号の表紙

毎年恒例のお盆8月13日に開催されることなみサマーフェスタの様子です。

総踊り・納涼花火等、楽しいイベントで盛り上がりました。地区ボランティアの人により、山間部田舎ならではの夏祭りをたくさんの方が楽しいひとときを過ごしました。



ママー、おっきいのすくってね



里帰りの心に響け

あとがき

編集 委員長 白川正樹

例年より1ヶ月遅れの発行です。東京での研修の成果が発揮できるように、前号よりも、いいものと考えましたが、まだまだ発展途上です。読みやすい紙面を目指しています。是非皆様の声を聞かせてください。

議会広報特別委員会

- 〈委員長〉白川 正樹
- 〈副委員長〉竹林 昌秀
- 〈委員〉松下一美
- 〈委員〉三好 郁雄
- 〈委員〉合田 正夫
- 〈委員〉川西 米希子

